



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	10-7892-2	版	2.00
発行日	2021/08/04	前発行日	2021/02/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

リライエックス™ セラミック プライマー

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H225

引火性の高い液体及び蒸気

H319 強い眼刺激

注意書き

安全対策

P210A 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P240B 容器を接地しアースをとること。
 P242A 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243A 静電気放電に対する措置を講ずること。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P241 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
 P264 取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P303 + P361 + P353A 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
 P370 + P378G 火災の場合：消化するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
エタノール	64-17-5	70 - 80
水	7732-18-5	20 - 30
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	2530-85-0	< 2

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消化するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。

回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

皮膚への長時間又は反復接触を避ける。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL : 1000 ppm	A3: 動物発がん性物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	液体
色	無色
臭い	特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	82.2 °C
引火点	21.1 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	3.3 % [詳細: エタノールとして]
燃焼点 (上限)	19 % [詳細: エタノールとして]
蒸気圧	7,332.7 Pa [試験条件: 25 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	0.86 g/ml
比重	0.86 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	適用しない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	1.1 mPa-s
揮発性有機化合物	
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質
知見はない。

**危険有害な分解物
物質**
知見はない。

条件

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,900 mg/kg
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.28 mg/l
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,225 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ウサギ	刺激性なし
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ウサギ	激しい刺激
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エタノール	ヒト	区分されない。
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	モルモット	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	In vitro	変異原性なし
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
----	----	-----	---------

エタノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
-------	------	---------	--------------------

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5, 200 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2, 100 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	非該当
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分されない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3, 000 mg/kg	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	LOAEL 124 mg/l	365 日
エタノール	吸入した場合	造血器系 免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8, 000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3, 000 mg/kg/day	7 日
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	皮膚	皮膚 肝臓 腎臓および膀胱	区分されない。	ウサギ	NOAEL 2, 100 mg/kg/day	17 日
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.05 mg/l	14 週
3-メタクリロキシプロピルトリメトキシシラン	吸入した場合	肝臓 造血器系 眼 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 0.244 mg/l	14 週

吸引性呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エタノール	64-17-5	ファットヘッド ミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚（その他）	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	ゼブラフィッシュ ユ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>=100 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	液状化	実験	3 時間	EC50	>=1,000 mg/l
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>1,000 mg/kg（乾燥重量）

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI(1)
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	実験 加水分解		加水分解の半減期	4 時間 (t 1/2)	
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	69 % BOD/ThBOD (10-day windowの基準を満たさない)	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.35	非標準的な手法
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	<34	OECD305-生体濃縮度試験
3-メタクリロキシプロピル トリメトキシシラン	2530-85-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.1	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 1 3 3 接着剤

輸送分類 (IMO) : 3 引火性液体

輸送分類 (IATA) : 3 引火性液体

容器等級： II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

消防法：第四類アルコール類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

主な法規制物質

成分	法規名		
エタノール	安衛法 (表示・通知) 61 (エタノール)	化管法 該当なし	毒劇法 該当なし

16. その他の情報

改訂情報

- セクション 2 : 環境影響ステートメント 情報の削除.
- セクション 2 : GHS分類 情報修正.
- セクション 2 : 健康有害性 情報修正.
- セクション 2 : 物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
- セクション 2 : 注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション 2 : 注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション 2 : 注意書き - 保管 情報修正.
- 項目 4 : 応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション 5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
- セクション 6 : 事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション 6 : 事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション 7 : 貯蔵情報 情報修正.
- セクション 7 : 取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション 9 : 色 情報修正.
- セクション 1 1 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 1 1 : 単回ばく露時の標準フレーズ 情報の削除.
- セクション 1 2 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1 4 : 国連番号の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1 5 : 法規名 - 表 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートへの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパン グループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。